

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.46

調査者	小久保 徹、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年5月11日
情報ソースの調査日	2020年5月16日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年6月6日
日本語タイトル	心臓血管疾患と COVID-19:危険な関係
情報ソース	Barison, A., et al. "Cardiovascular disease and COVID-19: les liaisons dangereuses." <i>European Journal of Preventive Cardiology</i> , May 11, 2020
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	ヨーロッパ(イタリア、スペイン)
DOI	10.1177/2047487320924501
URL	https://journals.sagepub.com/doi/10.1177/2047487320924501
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現エビデンスの再確認と実践的推奨事項について示されている。 ・ 高齢、男性、慢性呼吸器疾患、そしてがんとともに、心血管疾患、高血圧、および糖尿病は、COVID-19 に対する関係が強い負の予後因子である。 ・ 欧州心臓病学会 (European Society of Cardiology)、米国心臓協会 (American Heart Association)などは、Renin-Angiotensin-Aldosterone System (RAAS)拮抗薬 (angiotensin-converting enzyme inhibitors: ACEis または angiotensin receptor blockers : ARBs など)が有効とされる患者(心不全、高血圧、虚血性心疾患など)に対して、その継続を推奨している。 ・ 心血管疾患または心血管リスク因子を有する患者が COVID-19 を発症しやすく、また転帰も悪いことが示されている。 ・ 心不全外来では、自己隔離を推奨する。また、健康的な生活習慣や食事、自己管理 (定期的な血圧、心拍数、体重などの監視) は、全ての心臓血管疾患患者に推奨される。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心臓血管疾患患者が COVID-19 と診断された場合には、個々の臨床症状や血行動態に応じて、治療法は決定されている。 ・ 心血管疾患患者は、感染および重症化のリスクが高い。それを踏まえて、理学療法介入および患者教育は、行われる必要がある。